



平成30年3月16日  
第六管区海上保安本部

# 平成29年の海洋汚染の現状

## ～瀬戸内海・宇和海の傾向と対策～

### 1 海洋汚染の発生確認状況

平成29年に第六管区海上保安本部管内で確認した油、廃棄物等による海洋汚染の発生確認件数は50件で、前年より1件減少しました。

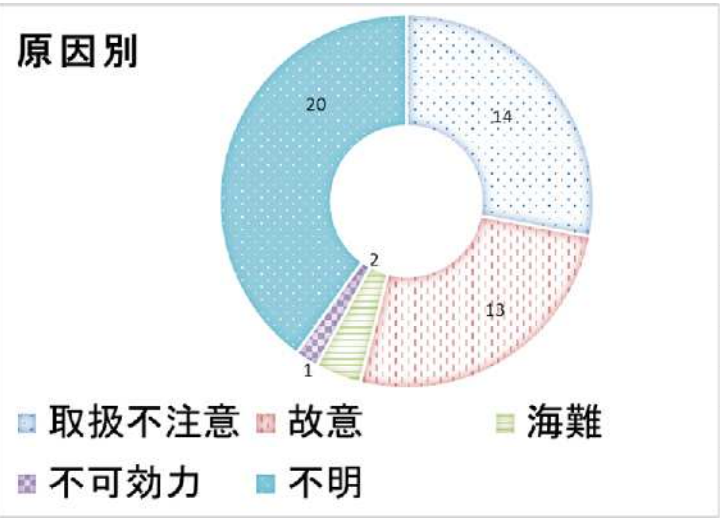
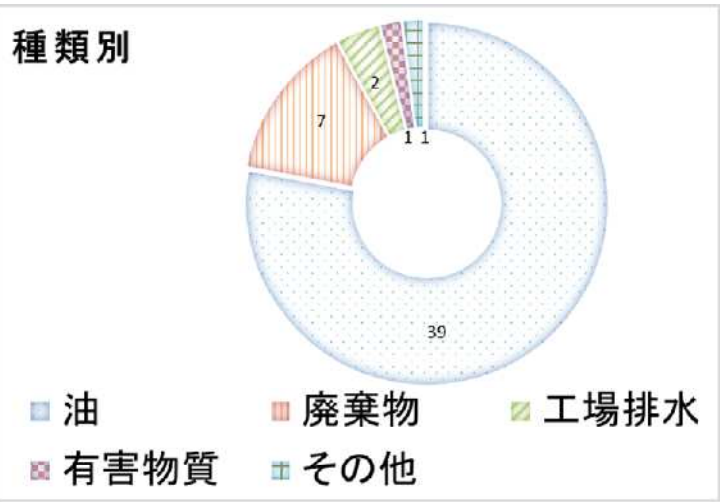
当庁全体（425件）の約12%を占める結果でした。

なお、広島県の海域を管轄する部署（広島、岩国、呉、尾道、福山）で確認した海洋汚染の発生確認件数は19件で、前年より7件減少しました。

海洋汚染発生確認件数の推移



平成29年に第六管区海上保安本部管内で確認した海洋汚染の発生確認件数50件を「種類別」「原因別」「海域別」に表したのが、以下の図です。



### 海域別

	小豆島	水島 玉野 高松 坂出	今治 新居浜	尾道 福山	呉	広島 岩国 柳井	松山	徳山	宇和島	計
	播磨灘	備讃瀬戸	燧灘	備後灘	安芸灘	広島湾	伊予灘	周防灘	宇和海	
H29	0	22	2	3	7	11	0	3	2	50
H28	0	15	5	7	8	11	0	1	4	51
H27	0	9	3	4	4	7	0	4	2	33
H26	1	6	3	5	10	4	1	2	0	32
H25	0	14	2	4	9	3	1	0	1	34
計	1	66	15	23	38	36	2	10	9	200

### 【特徴】

平成 29 年は油による汚染が 39 件（約 78%）で最も多く、その内原因別では、「取扱不注意」による汚染が 14 件（28%）でした。

海域別では、ここ 5 年の傾向を見ると管内でも通行船舶の多い備讃瀬戸海域において、多くの海洋汚染が発生しています。

取扱不注意について分析すると、燃料移送時のバルブ操作ミスなど、原因者のさまざまな不注意、不作為等の初歩的なミスによるものであり、その排出は防げたものでした。

## 2 海洋環境保全のための取組み

海洋汚染の大半は、取扱不注意等の人為的要因により発生している現状であるため、海洋汚染を防止するためには、国民一人ひとりに海洋環境の保全に関する意識の高揚が必要不可欠です。

このため、第六管区海上保安本部では、将来を担う子供達を含む一般市民や海事・漁業関係者等を対象として、海洋環境保全教室や環境パネル・図画展等を通じた海洋環境保全指導・啓発活動を実施しています。

また、関係機関と連携して不法投棄された廃棄物の監視や取締りを行っています。

### (1) 海洋環境保全教室

海洋環境に対する意識の向上を図るため、一般の市民や子供達に対して海洋環境保全教室や海洋環境保全講習会を実施しています。



### (2) 訪船指導、訪問指導

油による汚染の大半が、取扱不注意や故意であることから、漁船、作業船などの船舶や海事関係企業を個別に訪問して、油類の排出防止のための指導を実施しています。



### (3) 不法投棄監視合同シーパトロール

第六管区海上保安本部では、管内各部署と海洋環境に関する各行政機関等の担当職員が巡視艇に同乗して廃棄物不法投棄等の一掃に向け、連携した監視を行なっています。



## 3 未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール

海上保安庁では、海洋環境保全思想の普及を図るとともに、海上保安業務への理解と支援の促進を図ることを目的として、将来を担う小中学生の子どもたちを対象とした図画コンクールを実施しています。

以下の図画は平成29年度の海上保安庁長官賞、海上保安協会会長賞及び第六管区海上保安本部長賞を受賞した当管区応募作品です。

#### 海上保安庁長官賞受賞作品



広島市立宇品小学校6年

村上 莉央さん

## 海上保安協会会長賞受賞作品



松野町立松野小学校 3年  
毛利 斗綺さん



愛媛県立宇和島南中等教育学校 2年  
濱田 菜奈さん

## 第六管区海上保安本部長賞受賞作品



福山市立新涯小学校 3年  
飯島 果音さん



多度津町立多度津小学校 6年  
大平 梓乃さん



周南市立周陽中学校 3年  
池田 光さん

第六管区海上保安本部では、今後も「未来に残そう青い海」をスローガンに掲げ、関係省庁等とも緊密な連携を図りつつ、地域における海洋汚染の現状を踏まえた訪船指導や海洋環境保全教室などの指導・啓発活動を実施し、海事・漁業関係者及び一般市民に対し海上環境法令の励行遵守を促すとともに、海洋環境保全思想の高揚を図り、更なる海洋環境保全対策に取り組んでまいります。